

## 紡織が好調をキープ、北國はオムロンに快勝！

### ～第34回日本ハンドボールリーグ・第4週～

第34回日本ハンドボールリーグ第4週は9月26、27日に愛知などで男女各3試合が行われ、男子ではここまで勝点トップのトヨタ紡織九州がトヨタ車体との接戦を1点差で制したほか、V5を狙う大同特殊鋼と大崎電気が順当に白星を積み上げた。女子注目のオムロン・北國銀行戦は北國がスピードあふれる攻守で4連勝、4連覇中のオムロンは早くも2敗目を喫した。

男子の車体・紡織戦は前半15分を過ぎてから紡織の4:2ディフェンスが機能はじめ、中畠の3連取などで22分までに7連続得点をマーク、13-6とリードした紡織がそのまま優位をキープして前半を折り返した。前半で10-17と7点差をつけられた車体は、後半に入るとGK坪根が好セーブを連発、積極的なディフェンスも功を奏してじわじわと点差を縮めていった。そして21分、車体はケガから復帰した鶴谷の得点で同点に持ち込み、さらにルーキー高木の速攻シュートで24-23と逆転に成功した。その後、1点をめぐる一進一退の攻防が続き、29分に紡織・村上直が決勝点となるサイドシュートを決めて28-27と再逆転。すぐさま車体ベンチはタイムアウトを取るも、後半の粘りも及ばず紡織が1点差で逃げ切った。

大同・豊田合成戦は、立ち上がりこそ両GKの好守でなかなか得点が入らなかつたが、大同・山城のサイドシュートが決まると、その後は大同が白を中心としたスピードあふれる展開でリードを広げた。合成も今村の巧みなシュートで追撃したもののリズムに乗れず、逆にパスミスやシュートミスが大同の速攻につながり、29-9と大同が20点もののリードで前半終了。後半も大同の豊富な運動量は少しも衰えず、終盤もルーキー熊谷、野村らが連続得点を奪って楽々と3勝目をマークした。

女子のオムロン・北國戦は、前半10分過ぎから北國が若松のサイドシュート、野路良の速攻などで徐々に点差を広げたのに対し、オムロンも石立、藤井、高田の速攻などで5連取して27分13-14と1点差まで迫った。しかし、その後、北國は宮前のサイドシュートなどで加点、17-13と4点差をつけて前半を折り返した。後半に入って一進一退の攻防が続いたが、5分過ぎより北國は速攻などで3連取。オムロンもカットイン、サイドシュート、ポストシュートと反撃を仕掛けるものの、北國・GK田代の好セーブにあって点差を詰めることができず、その後も野路良、GK田代らの活躍で要所を締めた北國が終始リードをキープして開幕4連勝を飾った。

三重バイオレットアイリスと対戦したソニーセミコンダクタ九州は、立ち上がり飛田の好守からルーキー高橋のサイドシュート、郭のカットイン、高橋のポストシュートなど連続得点でリズム良く飛び出した。一方の三重は橋本、伊藤のミドルシュートで反撃したが、オフェンスミスを逆速攻につながれてしまい、GK浅井が好セーブを見せるものの、なかなか点差が詰まらなかった。18-10とリードして前半を折り返したソニーは、後半に入っても果敢なディフェンスで三重の攻撃陣にプレッシャーをかけ、田中、高橋の速攻などで加点。三重は後半から入ったGK毛利の好守からセンター橋本、ポスト桂のコンビで応戦したが勝機を見出すまでに至らなかつた。

(2ページに続く)



①勝点でトップに立ったトヨタ紡織九州・中畠②開幕4連勝を飾った北國銀行・上町

### 第5週の日程

10月10日(土)	愛知	スカイホール豊田(名鉄豊田線豊田市駅徒歩10分)	14:00~ 16:00~	(女) (男)	オムロ 大同特 殊鋼	ン×三重バイオレットアイリス トヨタ紡織九州
	広島	湧永満之記念体育館 (JR芸備線甲立駅車10分)	13:00~	(男)	湧永製薬	×北陸電力
	沖縄	東区スポーツセンター(アストラムライン線牛田駅徒歩2分)	14:00~	(女)	広島メイプルレッズ	×ソニーセミコンダクタ九州
	石川	沖縄県総合運動公園体育館(那覇バスターミナルよりバス県総合運動公園バス停下車)	14:00~	(男)	琉球コラソン	×トヨタ車体
	10月11日(日)	小松総合体育館(JR北陸本線小松駅徒歩20分)	13:00~	(女)	北國銀行	×H.C.名古屋



ソニーセミコンダクタ九州・東

## 大崎・広島が今季2勝目をマーク

9月26日、福井での男子・北陸電力-大崎電気の対戦は、永島、太田による3連打で好スタートを切った大崎が、北電に1点を返されてからも2度の6連取を繰り出すなど、北電を圧倒。17-4と前半だけで決定的なリードを奪った。それでも、これで試合は決まりず、メンバーを大きく入れ替えてややもたついた大崎に北電が食らい着く。後半15分、25-14と大崎11点リードの場面から、北電は松岡の連続サイドシュートで勢いづき、一気の9連取。残り5分、23-25と2点差に詰め寄った。地元ファンを大いに沸かせ、大金星の期待もふくらんだものの、残り4分、北電は前田が退場。このチャンスを着実に得点につなげた大崎が、北電の猛追を振り切って、今シーズン2勝目をマークした。

27日、広島での広島メイプルレッズ-HC名古屋戦は、積極的なプレスディフェンスを仕掛けて名古屋の足の動きを止めるとともに、攻めでは植垣の3連続ゴールなどで6連取を発進した広島が序盤から試合の主導権をガッチリと握って快走。そのまま勢いづいた広島が、前半を19-7と大量リードで折り返した。後半、名古屋も主砲・菅谷や高橋(玲)、池田の両サイドの活躍などで得点ペースを上げたが、広島に大きく傾いた試合の流れを変えるには至らず、広島が36-20と16点差をつけ、今シーズン2勝目をあげた。

10月2日から6日にかけては新潟国体が開催されるため、リーグは国体ブレイク期間となり、次の第5週は10月10日、11日の両日の開催となる。愛知での男子・大同特殊鋼(3勝)とトヨタ紡織九州(3勝1分)の今シーズン無敗同士の対戦など、男女各3試合が組まれている。

◆ 9月26日(土) 男子 福井・福井県営体育馆			◆ 9月26日(土) 男子 愛知・ウィングアリーナ刈谷			◆ 9月27日(日) 女子 三重・鈴鹿市立体育馆		
大崎電気	28 (17-4 2勝1分0敗)	24 11-20	北陸電力	0勝1分3敗		トヨタ紡織 九州	28 (17-10 3勝1分0敗)	トヨタ車体 27 1勝0分3敗
1/ 2 小澤	高橋	2/ 3	佐々木	2/ 3		トヨタ紡織 九州	32 (18-10 3勝0分1敗)	三重バイオレット 20 1勝0分3敗
4/ 5 前田	神田	6/14	高智	2/ 5		ソニーセミコンダクタ九州		浅井 K <0/1>
1/1 6/ 8 豊田	落合	2/ 4 1/1	安藤	0/ 0		クタ九州		横川 3/ 4
2/ 3 望月	前田	2/ 4	村上直	0/ 0		32 (14-10)		桂 2/ 7
3/ 5 永島	高田	1/ 3	松信	3/ 5		3勝0分1敗		石黒 0/ 0
4/ 9 太田	杉山	3/ 5	村上秀	0/ 4				田中 4/12
<1/2> K 東	大谷	0/ 0	吳相民	4/11				山田 0/ 1
1/ 4 森	表	0/ 0	佐久間	2/ 4				谷口 0/ 0
3/ 5 岩永	山原	1/ 3 1/2	田平	K <2/4>				工藤 0/ 0
2/ 5 夏山	松岡	3/ 3	鶴田	6/ 7				北村 0/ 0
<0/1> K 石原	丸山	K <1/2>	鶴谷	K				本野 2/ 7
1/ 4 秋山	石塚	2/ 6	海道	1/ 1				高栖 0/ 0
0/ 1 0/ 2 内田	櫛田	0/ 2	坪根	K				毛利 K <1/2>
0/ 4 猪妻	有江	K	香川	0/ 1 2/3				星野 3/ 4
			<1/2> K 谷川	0/ 0				野星 0/ 0
			崎前	0/ 0				小川 0/ 0
			2/3 1/ 5 藤山	銘苅	3/ 4 1/2			伊藤 5/14 1/1
			0/1 1/ 1 石黒	門山	5/ 9			島崎 0/ 0
1/2 27/56	7(FPP)7	22/47 2/3	2/4 26/51	5(FPP)4	24/38 3/5	2/3 30/56	2(FPP)4	19/49 1/1
審判(藤井・大熨)		観客 880人	審判(池渕・檜崎)		観客 760人	審判(北嶋・比留間)		観客 560人
◆ 9月27日(日) 女子 京都・京都府立体育馆	◆ 9月27日(日) 女子 福岡・福岡市民体育馆			◆ 9月27日(日) 男子 福岡・福岡市民体育馆				
北國銀行	30 (17-13 4勝0分0敗)	25 13-12	オムロン	広島メイプル レッズ	36 (19-7 2勝0分2敗)	HC名古屋	大同特殊鋼	48 (29-9 3勝0分0敗)
1/3> K 寺田	勝田	K <0/1>	<2/4> K 堂面	近藤	K <0/2>	24/38 3/5	48 (19-15)	24 0勝2分2敗
0/ 0 鮎場	城内	1/ 2	1/ 1 土屋	池田	4/ 7	2/3 30/56	2(FPP)4	19/49 1/1
2/3 8/13 上町	高田	2/ 8	1/1 3/ 4 村山	佐藤	2/ 6 0/1	審判(池渕・檜崎)	審判(北嶋・比留間)	観客 560人
3/ 6 宮前	巻	1/ 2	6/ 7 大前	高橋瑛	2/ 4			
0/ 0 佐久川	吉田祥	0/ 0 2/3	1/1 9/16 植垣	菅谷	3/ 9 2/2			
2/ 5 中村	藤井	6/13	0/ 0 李	外本	2/ 3			
4/ 4 横嶋	石立	2/ 4	0/ 1 栗本	上野	0/ 0			
3/ 3 野路良	坂元	1/ 1	4/ 6 伊藤	高橋玲	5/ 6			
K 田代	洪廷昊	5/ 7	0/1 4/ 4 五月女	家城	K <1/1>			
3/ 8 仲宗根	藤間	K <1/2>	K 横田	秋山	0/ 0			
0/ 0 野路里	勝連	0/ 0	6/ 6 安齋	星野	0/ 3 0/1			
1/ 1 井上	吉田薰	0/ 2	0/ 0 石山	神谷	0/ 0			
0/ 0 八十島	永田	1/ 2	1/ 6 高山					
4/ 7 若松	東濱	4/ 8	0/ 3 新城					
2/3 28/47	7(FPP)5	23/49 2/3	2/3 34/54	6(FPP)7	18/38 2/4	1/1 47/63	4(FPP)5	24/50 0/0
審判(佐々木・高原)		観客 930人	審判(浦川・石崎)		観客 1152人	審判(金子・児玉)		観客 1258人

# 男女個人賞レース 第4週終了

## 《男子》

## 《女子》

### 得点王

1	中畠 嘉之	(トヨタ紡織九州)	25 点	(4試合)	1	上町 史織	(北國銀行)	41 点	(4試合)
2	末松 誠	(大同特殊鋼)	24 点	(3試合)	2	植垣 曜恵	(メイプルレッズ)	30 点	(4試合)
3	門山 哲也	(トヨタ車体)	23 点	(4試合)	3	高橋 恵	(ソニ一)	27 点	(4試合)
4	豊田 賢治	(大崎電気)	22 点	(3試合)	3	郭 恵靜	(ソニ一)	27 点	(4試合)
5	神田 友和	(北陸電力)	20 点	(4試合)	5	横嶋かおる	(北國銀行)	25 点	(4試合)
6	吳 相民	(トヨタ紡織九州)	19 点	(4試合)	6	伊藤亜衣美	(バイオレットアイリス)	22 点	(4試合)
6	今村 彰伸	(豊田合成)	19 点	(4試合)	7	城内 真紀	(オムロン)	20 点	(4試合)
8	武田 享	(大同特殊鋼)	18 点	(3試合)	8	高栖 由香	(ソニ一)	19 点	(4試合)
9	藤山 岳士	(トヨタ紡織九州)	17 点	(4試合)	8	若松 里佳	(北國銀行)	19 点	(4試合)
10	阪 昭博	(トヨタ紡織九州)	16 点	(4試合)	8	桂 裕美子	(バイオレットアイリス)	19 点	(4試合)
10	杉山 卓也	(北陸電力)	16 点	(4試合)	11	高田 裕梨	(オムロン)	18 点	(4試合)
12	桶谷 英則	(豊田合成)	14 点	(4試合)	12	星野 美佳	(バイオレットアイリス)	17 点	(4試合)
12	落合 信也	(北陸電力)	14 点	(4試合)	13	横川 恵子	(バイオレットアイリス)	15 点	(4試合)
14	新 建二	(湧永製薬)	13 点	(2試合)	13	大前 典子	(メイプルレッズ)	15 点	(4試合)
14	森光 勇太	(豊田合成)	13 点	(4試合)	15	田中美音子	(ソニ一)	14 点	(4試合)
14	小澤 広太	(大崎電気)	13 点	(3試合)					
14	村山 裕次	(琉球コラソン)	13 点	(2試合)					
14	高智 海吏	(トヨタ車体)	13 点	(4試合)					

### フィールド得点賞

1	中畠 嘉之	(トヨタ紡織九州)	25 点	(4試合)	1	上町 史織	(北國銀行)	29 点	(4試合)
2	門山 哲也	(トヨタ車体)	23 点	(4試合)	2	郭 恵靜	(ソニ一)	27 点	(4試合)
3	末松 誠	(大同特殊鋼)	22 点	(3試合)	3	横嶋かおる	(北國銀行)	25 点	(4試合)
4	豊田 賢治	(大崎電気)	20 点	(3試合)	4	植垣 曜恵	(メイプルレッズ)	23 点	(4試合)
4	神田 友和	(北陸電力)	20 点	(4試合)	5	高橋 恵	(ソニ一)	22 点	(4試合)
6	吳 相民	(トヨタ紡織九州)	19 点	(4試合)	6	城内 真紀	(オムロン)	20 点	(4試合)
6	今村 彰伸	(豊田合成)	19 点	(4試合)	6	伊藤亜衣美	(バイオレットアイリス)	20 点	(4試合)
8	武田 享	(大同特殊鋼)	18 点	(3試合)	8	高栖 由香	(ソニ一)	19 点	(4試合)
9	阪 昭博	(トヨタ紡織九州)	16 点	(4試合)	8	若松 里佳	(北國銀行)	19 点	(4試合)
9	杉山 卓也	(北陸電力)	16 点	(4試合)	8	桂 裕美子	(バイオレットアイリス)	19 点	(4試合)

### シート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1	阪 昭博	(トヨタ紡織九州)	16点/ 22射	0.727	1	高栖 由香	(ソニ一)	19点/ 21射	0.905
2	豊田 賢治	(大崎電気)	20点/ 28射	0.714	2	横嶋かおる	(北國銀行)	25点/ 29射	0.862
3	末松 誠	(大同特殊鋼)	22点/ 33射	0.667	3	城内 真紀	(オムロン)	20点/ 27射	0.741
4	武田 享	(大同特殊鋼)	18点/ 32射	0.563	4	若松 里佳	(北國銀行)	19点/ 28射	0.679
5	中畠 嘉之	(トヨタ紡織九州)	25点/ 45射	0.556	5	上町 史織	(北國銀行)	29点/ 44射	0.659

### 7mスロー得点賞

1	銘苅 淳	(トヨタ車体)	6 点	(4試合)	1	上町 史織	(北國銀行)	12 点	(4試合)
1	村山 裕次	(琉球コラソン)	6 点	(2試合)	2	植垣 曜恵	(メイプルレッズ)	7 点	(4試合)
3	森光 勇太	(豊田合成)	5 点	(4試合)	2	吉田 祥子	(オムロン)	7 点	(4試合)
3	香川 将之	(トヨタ車体)	5 点	(4試合)	4	高橋 恵	(ソニ一)	5 点	(4試合)
3	藤山 岳士	(トヨタ紡織九州)	5 点	(4試合)	4	菅谷 美奈	(H C 名古屋)	5 点	(4試合)

### 7mスロー阻止率賞 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1	田平龍太郎	(トヨタ車体)	3本/ 5射	0.600	1	堂面 妙子	(メイプルレッズ)	3本/ 5射	0.600
1	坪根 敏宏	(トヨタ車体)	3本/ 5射	0.600	1	家城 千香	(H C 名古屋)	3本/ 5射	0.600
3	東 直明	(大同特殊鋼)	2本/ 4射	0.500	3	勝田 祥子	(オムロン)	2本/ 5射	0.400
4	谷川 一寿	(トヨタ紡織九州)	2本/ 5射	0.400	4	寺田三友紀	(北國銀行)	3本/ 9射	0.333
5	藤田 東吾	(豊田合成)	2本/ 6射	0.333	4	横田智恵美	(メイプルレッズ)	3本/ 9射	0.333

### 日程変更

(変更前) 10月31日 (土) 北陸電力福井体育馆フレア 13:00～北陸電力－豊田合成

(変更後) 10月31日 (土) 北陸電力福井体育馆フレア 15:30～北陸電力－豊田合成

※会場、試合日に変更はありません。

# 第34回日本ハンドボールリーグ成績表

第4週終了 9月27日

順位	男子	トヨタ 紡織九州	大同 特殊鋼	大崎電気	湧永製薬	トヨタ 車体	豊田合成	琉球 コラソン	北陸電力	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	トヨタ紡織九州			30 △ 30		28 ○ 27		36 ○ 28	30 ○ 23	4	3	1	0	7	124	108	16
2	大同特殊鋼				32 ○ 26	30 ○ 23	48 ○ 24			3	3	0	0	6	110	73	37
3	大崎電気	30 △ 30				36 ○ 25			28 ○ 24	3	2	1	0	5	94	79	15
4	湧永製薬		26 ● 32				39 ○ 23			2	1	0	1	2	65	55	10
5	トヨタ車体	27 ● 28	23 ● 30	25 ● 36					28 ○ 17	4	1	0	3	2	103	111	-8
6	豊田合成		24 ● 48		23 ● 39			22 △ 22	22 △ 22	4	0	2	2	2	91	131	-40
7	琉球コラソン	28 ● 36				22 △ 22				2	0	1	1	1	50	58	-8
8	北陸電力	23 ● 30		24 ● 28		17 ● 28	22 △ 22			4	0	1	3	1	86	108	-22

順位	女子	北國銀行	ソニーセミコンダクタ九州	オムロン	広島メイフルレッズ	三重バイオレットアイス	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	北國銀行		33 ○ 27	30 ○ 25	34 ○ 28	29 ○ 21		4	4	0	0	8	126	101	25
2	ソニーセミコンダクタ九州	27 ● 33		28 ○ 27		32 ○ 20	42 ○ 15	4	3	0	1	6	129	95	34
3	オムロン	25 ● 30	27 ● 28		33 ○ 17		40 ○ 11	4	2	0	2	4	125	86	39
4	広島メイフルレッズ	28 ● 34		17 ● 33		28 ○ 27	36 ○ 20	4	2	0	2	4	109	114	-5
5	三重バイオレットアイス	21 ● 29	20 ● 32		27 ● 28		30 ○ 15	4	1	0	3	2	98	104	-6
6	HC名古屋		15 ● 42	11 ● 40	20 ● 36	15 ● 30		4	0	0	4	0	61	148	-87

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。